琉球王国の繁栄と交易

約450年間つづく琉球王国

1429年に誕生した琉球王国では、王となった当巴志が尚姓を名乗ったことから、これが王家の姓となりました。尚巴志が開いた王統を「第一尚氏王統」といいます。

1470年にはクーデターが起こり、新たな主統が成立しました。これを「第二尚氏主統」とよびます。以後、琉球王国は1879年までつづいていくことになります。

中国や東南アジアの 国ぐにとの交易

琉球王国は、中国からあたえられた大型帆船で、朝鮮や日本だけでなく東南アジア諸国とも交易をおこない、中継貿易による海洋国家として栄えました。1458年につくられ、首里城正殿にかけられた万国津梁の鐘には、「琉球国は南海の恵まれた地域にあり、朝鮮の豊かな文化を取り入れ、中国と日本とはとても重要な関係をもっている。琉球はまさに理想郷である。船をかけ橋(津梁)にして諸外国と交易をしているので、国内はめずらしい品物や宝物で満ちあふれている」という、琉球王国の繁栄がわかる内容が刻まれています。



たこうぜん 生貢船の図

(所蔵:沖縄県立博物館・美術館



万国津梁の鐘

第一尚氏王統6代目の王・尚泰久の命によってつくられました。

(所蔵:沖縄県立博物館・美術館)



琉球干国の海外貿易

中国王朝から国としてみとめられた琉球王国は、交易国家として発展します。 交易範囲は東アジアにかぎらず、東南アジア諸国にもおよんでいました。

ZUZZUBA

琉球と日本の関係

花開いた琉球文化

(プラスを) (元子を) (元子

13世紀ごろには、日本から文字が伝えられ、歌謡集『おもろさうし』が編集されます。これは、沖縄・奄美諸島に伝わる古い歌謡で、おもに神をまつる行事でうたわれました。14世紀の終わりごろには中国から三線が伝わり、芸能がさかんになりました。18世紀には冊封使をもてなすために、組織がつくられまられまった。このほか、漆器や紅型など、独自の工芸品も生まれました。(◆3巻)。



くみおど

日本の能や狂誓、歌舞伎と琉球の文化が融合した組織。写真は組織の代表作「二量敵討」の一場面です。

(写真提供:国立劇場おきなれ



三線は琉球から安土桃山時代の日本に伝えられ、三味線につくりかえられて18世紀には歌舞伎音楽などの重要な楽器となりました。

がんがた

紅型は首里王府の保護 のもとで、中国の型紙 やジャワ更物の技芸を 取り入れて琉球独自の



10

日本による中国進出

明治時代以降、日本は日清戦争、日露戦争、 さらに、第一次世界大戦に参戦して勝利し、朝 鮮半島や中国に勢力を広げていきました。とく に清(中国)において、日本は満州(中国東北地 方の古いよび名)に陸軍部隊、のちの「関東軍」 をおき、戦争で得た領土や権益を守りつつ、本 格的な中国進出をもくろみます。

一方、中国では、1911年に清国がほろび、 まくねん 5ゅうか みんこく 翌年、中華民国が成立しました。1931年、そ の中華民国で関東軍が満州を占領し、翌1932 年に「満州国」を建国します(満州事変)。満州 こく 国は表向きは独立国ですが、実際は関東軍が実 権をにぎっていました。

日中戦争と第二次世界大戦

関東軍による強引な満州国の建国によって、 中国の日本に対する反発は高まっていきまし た。こうした状況のなか、1937年7月、中国・ 北京郊外の盧溝橋で、日本軍と中国軍が衝突。 これをきっかけに日中戦争がはじまります。

一方、ヨーロッパでは、ヒトラー率いるナチ ス・ドイツが、イギリスやフランスとの対立を 深めていました。そして、1939年9月、ドイ ツがポーランドに侵攻したことをきっかけに、 第二次世界大戦がはじまりました。

アジア太平洋戦争への 道のり

1914年7月

日本は連合国として参戦し勝利。中 国・三東半島の権益などを得る。

931年9月

満州事変 (~1933年5月) かんとうぐん まんしゅう せんりょう まんしゅうこく 関東軍が満州を占領。満州国を建国

1937年7月

日中戦争 (~1945年8月) **盧溝橋での日本軍と中国軍の衝突を** きっかけに開戦。

1939年9月

第二次世界大戦(~1945年) ドイツのポーランド侵攻をきっかけ に開戦。

日本陸軍がマレー半島に上陸、海軍 がハワイの真珠湾を攻撃したことで

アジア太平洋戦争開戦

日中戦争は中国の強力な抵抗により、どろ沼 化していきました。日本は戦争をつづけるた めに、軍事物資を求めて東南アジアに進出しよ うとします。しかし、このころ東南アジアの国 ぐにを植民地としていたアメリカやイギリスが これに猛反発し、日本への石油輸出を禁止する などの経済制裁を加えます。日本はこれに対抗 するために、1940年9月、ドイツ、イタリア と日独伊三国同盟を結び、アメリカ、イギリス などをふくむ 「連合国」と対立していくことに なります。

1941年12月8日、日本陸軍がイギリス領 マレー半島に上陸し、日本海軍がハワイの真珠 湾を奇襲攻撃します。これをきっかけに、アジ ア太平洋戦争がはじまりました。



アメリカ軍の太平洋艦隊と基地のあったハ ワイ州の真珠湾に、日本軍が奇襲攻撃をし ました。※トするアメリカの戦艦アリゾナ。

日本軍の戦線拡大 1941年12月~1942年6月ごろ

アジア太平洋戦争がはじまると、日本軍は フィリピン、シンガポール、ジャワ島 (イン ドネシア)を次つぎに占領し、1942年6月ご ろまでに東南アジアをふくむ南太平洋の広 い範囲にまで前線を広げました。



(出典:『図説日本史通覧』帝国書院)

15

女子生徒が動員された 「ひめゆり学徒隊」

1945年3月23日の深夜、沖縄師範学校女 子部・沖縄県立第一高等女学校の生徒222人 は、18人の教師に引率されて、南風原の沖縄 陸軍病院に向かいました。病院といっても、丘 の斜面につくられた横穴に2段ベッドが置かれ ただけの施設です。しかも、アメリカ軍が上陸 すると、丘は絶え間なく砲弾が飛び交う戦場に なりました。生徒たちはここで、前線から送ら れてくる負傷兵の看護のほか、水くみや食料の 運搬、死体処理などの仕事にあたりました。

動員された240人の生徒・教師のうち、136 名が亡くなりました。戦後、彼女たちを「ひめ ゆり学徒隊 とよぶようになりました。



沖縄師範学校女子部・

両校の生徒たちは、恵まれた教育環境のな かで学生生活を送っていました。しかし、 アメリカ軍の爆撃を受けて校舎は消失し、 廃校となりました。

(写真提供:ひめゆり平和祈念資料館)





学徒隊

沖縄戦では、師範学校や旧制中 学校(中学校、高等女学校、実業 学校)21校の生徒が「学徒隊」と して戦場に動員されました。男子 生徒は14~19歳、女子生徒は 15~ 19歳のまだ10代の生徒た ちが、戦争にかり出されたのです。

ひめゆり学徒隊の定跡

3月に南風原の沖縄陸軍病院へ動員されたあと、 津嘉山や一日橋、識名などへそれぞれ十数人の女 子生徒が配置替えとなりました。5月下旬には南 部へ撤退します。6月18日に陸軍により解散命令 が出されると、壕から追い出された女子生徒たち は戦火にさらされ、半数以上が亡くなりました。

男子生徒が動員された 「鉄血勤皇隊」と「通信隊」

沖縄戦では、軍の補助要員として、師範学校 や旧制中学校の10代の男子生徒たちも戦場に 動員されました。現在の学年でいえば、ほぼ中 学1年生から大学1年生にあたります。上級生 は「鉄血勤皇隊」に、下級生は「通信隊」に編成 されました。鉄血勤皇隊は二等兵の階級があた えられ、軍の陣地をつくる作業や武器・弾薬な どの運搬にあたりました。アメリカ軍の上陸後 は、刀や手りゅう弾を持って敵地に斬りこんだ り、爆弾を背負っての戦車攻撃に参加させられ たりもしました。通信隊は、暗号を記憶して情 報伝達や、爆撃で切断された電話線の修復など の任務に従事しました。沖縄戦により、半数以 上の学徒が学業半ばで亡くなりました。



前年の修了式の日に この記念写真は、女子生徒たちが「ひめゆり学徒隊」として動員されるおよそ1年前に撮影 されたものです。写っている50人のうち、中央の校長先生をふくむ21人が沖縄戦で亡く なりました。(写真提供:ひめゆり平和祈念資料館)

データで見る 沖縄戦の

ひめゆり学徒隊

240名

動員数

師範学校女子部 157人 65人 18人

136名 内訳

死者数

13人

女子学徒隊は、ひめゆり学徒隊のほ かに8校から283人が動員され、65 人が亡くなっています。

全男子学徒隊

動員数 1418名

死者数 792名

(『沖縄県史 各論編 第六巻 沖縄戦』より)

※正確な人数はわかっていません。

23